

隣保館だより

第438号

2022年 12月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



学び・気づき・広げる
人権の“わ”
～水平社宣言100年の想い～

第23回 いのち・愛・人権フェスティバル

1948年12月10日に「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定め、全国で様々な取り組みが行われています。九重町では1998年12月7日、九重町隣保館トイレで差別落書きが発生し、多くの人の心を傷つけました。この時感じた差別に対する「憤り」と「この日を忘れない・この時の気持ちを風化させない」ために「いのち・愛・人権フェスティバル」を毎年開催しています。

今年は、役場301会議室をメイン会場として、ステージ発表を配信して各地区公民館（サテライト会場）で視聴する形式で行いました。

野矢小学校高学年、南山田小学校6年生、なるほど“ザ”人権講座実行委員会、水平社宣言に学ぶ会、それぞれの団体の皆さんが素晴らしいステージ発表をしてくださいました。部落差別問題について学んだこと、その学びから気づき、これから差別解消に向けてどうしたらよいかを改めて、考える時間となりました。



実行委員長 あいさつ



サテライト会場の様子

人権のステージ



野矢小学校高学年



南山田小学校6年生



なるほど“ザ”人権講座実行委員会



水平社宣言に学ぶ会

人権のひろば

人権啓発パネル・活動紹介（地区人権・部落差別解消推進協議会）



隣保館教室生の作品



生け花教室



編み物教室

活動紹介・活動作品

わ〜くす・たんぽぽ、
どり〜む・たんぽぽ

地域生活支援センターはぎの



九重町隣保館人権学習会を開催しました

11月16日(水)に九重町隣保館において、大分県人権啓発講師の河野龍児さんを迎え、「障がい者の人権について」と題して講演していただきました。

「障がい者を取り巻く国内法と人権問題について」「大分県内の障がい福祉の現況」「命と障がいと自分の可能性を見つめて」の3つのことについてお話しくださしました。

法律的な制度の中で、「障がい」という考え方が「医学モデル」という個人の問題から「社会モデル」という社会、つまりみんなの問題であるという考え方に変わってきたこと。県内の現況からは、障がい者に配慮したまちづくりを考える時に、当事者の声が届くことが大切だということ。そして、高校3年生の時、海水浴中の事故により身体障がい者となってからのご自身の体験談と、聞く人の視点によっても受け取りやすい、誰もが「当事者」だと意識するきっかけにできる講演でした。

参加者の感想(一部)

- ・知らないことが多く、いかにせまい知識のみで生活してきたか。「障がい」をつくっているのは、周りの人たち、周りの環境だと考えさせられました。
- ・ある日突然、障がい者になることもあり、自分にも起こる可能性があるのだと思いました。相手の気持ちを考えて、人と接したいと感じました。



人権啓発フェスティバルヒューマンフェスタ2022 おおいたに参加しました

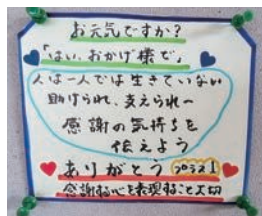
11月26日(土)、大分市ガレリア竹町において、人権啓発フェスティバルヒューマンフェスタ2022おおいたが開催されました。大分県をはじめ県内で人権課題と向き合い様々な活動をしている組織、団体のみなさんが、パネル展示やマルシェコーナー、人権クイズラリー、メッセージアートなどで人権について楽しく学べて参加できる取り組みを行いました。隣保館活動紹介コーナーでは県下13館が取り組みについてのパネルや作品等を展示し、ステージイベントでは隣保館についての紹介と手話ソングを発表しました。



◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行 事 名
12月22日(木)	ハッスルシルバース(たけのこ会)
12月23日(金)	生け花教室



月 日	行 事 名
1月 9日(月・祝)	編み物教室
1月12日(木)	ハッスルシルバース(つばき会)
1月16日(月)	編み物教室
1月19日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)
1月25日(水)	カラフルタイム
1月26日(木)	ハッスルシルバース(たけのこ会)